

世界の国々が力を合わせ、

地球の危機は一人の力や一つの国だけでは解決できません。全世界が心を一つにして問題に取り組んでいく必要があります。世界はこの危機をどのように乗りこえようとしているのでしょうか。

持続可能な開発目標 (SDGs)

人間活動が生じる様々な問題に国際社会が協力して取り組むため、2015年9月の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。これは、すべての国が共に取り組むべき目標で、その中に「持続可能な開発目標 (SDGs)」として2030年までの17の目標 (ゴール) が設定されています。SDGsの目標はそれぞれ連関しているので、一つの課題解決の行動により、複数の課題解決を目指すことも可能であり、環境のみではなく、環境・経済・社会のつながりを考え、ともに解決していくことが大切になります。



資料：国連広報センター

コラム セヴァン・カリス＝スズキさんのスピーチ

1992年、ブラジルのリオデジャネイロで「環境と開発に関する国連会議 (地球サミット)」が開催されました。この時、12歳の少女が壇上へ上がり、怒りに心を震わせて大人たちに訴えかけました。

「直す方法を知らないのなら、地球をこわし続けるのはやめてほしい。犠牲になるのは、わたしたち子どもの未来です」と語ったそのまっすぐな姿は、集まった人たちだけでなく、世界中の人々の心を大きく動かししました。

壇上でスピーチをするセヴァンさん



資料：ナマケモノ倶楽部